

六. 支拂状況

第一次、三月二十三日職工全員出勤セル。工場主側ニ於テ何人々出勤セサル為工場内寄宿舍ニ集令協議、上勞農黨城西支部ニ應援ヲ求メタルニ支部員闇谷義之助、吉田春雄ノ指導スル。トト、廿四日職工代表トシテ三井正春外三名ト共ニ工場主及支配人室ヲ訪問セル。不在、為翌日再訪セル。又不在ト稱シ面會セサカル。

第二次、更ニ二十六日工場主（芝區自金三光斯二六）ヲ訪問セル。前記代表者ハ唐人ニ對シ左記要求書、傳達方々依頼シ別添、如キ印刷物、附近各戸ニ配布シタリ。

要求書

- (一) 工場閉鎖並ニ解雇懲罰反對
- (二) 開鎖中、日給全額支拂
- (三) 争議中、日給全額支拂
- (四) 争議費用、資本家側全額負担
會社今回、行為ハ公然誠意ナキ天ノト認ム。右、要求文書提出入

昭和五年三月二十六日

三井正春外十五名
署名捺印

新川ライト工業所社長殿

第次第三十七日前十一時三十工場事務室於テ